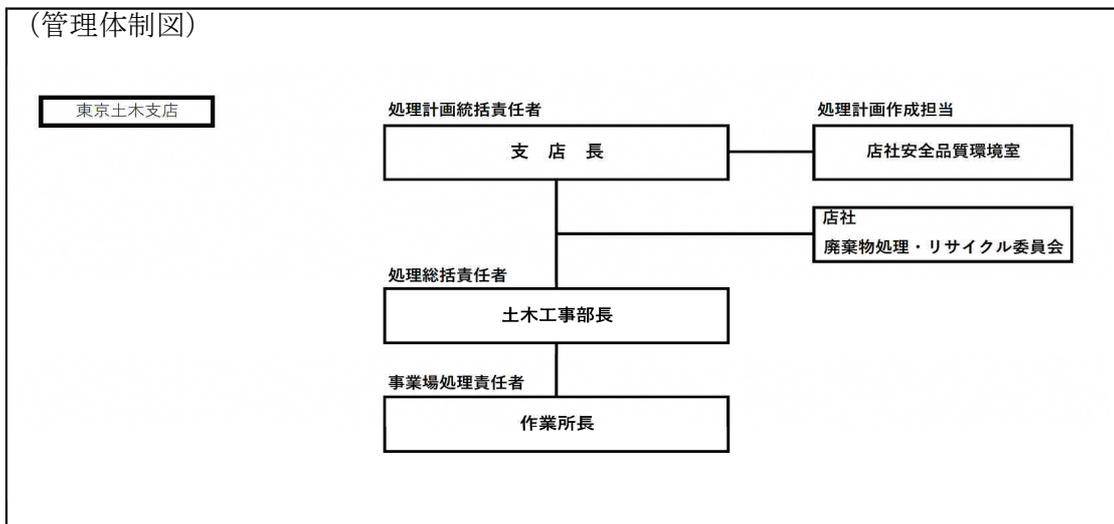


(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	別紙1のとおり
	排出量	別紙1のとおり り t	別紙1のとおり t
	(これまでに実施した取組) ・包装材の簡素化を行う。 ・無駄な発注を避ける。 ・不具合・不適合製品（構造物）を発生させない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	別紙1のとおり
	排出量	別紙1のとおり り t	別紙1のとおり t
	(今後実施する予定の取組) ・工法の改善（例えば現場加工→工場製作現場組立）を検討する。 ・プレキャスト化の設計・施工の取り組み		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類、廃石膏ボード、紙くず（段ボール）はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・継続して分別保管を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	ー t	ー t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ー t	ー t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	全処理委託量	別紙2のとおり t	別紙2のとおり t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2のとおり t	別紙2のとおり t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2のとおり t	別紙2のとおり t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2のとおり t	別紙2のとおり t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2のとおり t	別紙2のとおり t
	(これまでに実施した取組)		
・可能な限り再生利用業者への処理委託を行うことで、最終処分量の低減を図る。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	別紙3のとおり
	全処理委託量	別紙3のとおり り t	別紙3のとおり t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり り t	別紙3のとおり t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり り t	別紙3のとおり t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり り t	別紙3のとおり t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり り t	別紙3のとおり t
	(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者に優良認定処理業者の選定を増やしていく様、 努力する。 ・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別 紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	84.000 t	204.200 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	排出量	59.200 t	0.000 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	316.900 t	40.600 t
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	排出量	992.900 t	82.800 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排出量	34.800 t	
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(管理型含む)	
	2021年 4月 1日 から 2022年 3月31日	49.900 t	t
	産業廃棄物の種類		合計
	排出量	— t	1865.300 t
②計画	前年度の元請完成工事高 133億円		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスコン破片
	排出量	100 t	200 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	排出量	50 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	300 t	50 t
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	排出量	1000 t	50 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず(伐木除根等)
	排出量	30 t	10 t
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
	排出量	0 t	50 t
	産業廃棄物の種類		合計
	排出量	— t	1,840 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】			
	コンクリートがら	アスコンがら	
全処理委託量	84.000 t	204.200	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
再生利用業者への処理委託量	77.900 t	201.900	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず	
全処理委託量	59.200 t	0.000	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
再生利用業者への処理委託量	53.300 t	0.000	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	
全処理委託量	316.900 t	40.600	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
再生利用業者への処理委託量	290.400 t	40.600	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず	
全処理委託量	992.900 t	82.800	t
優良認定処理業者への処理委託量	992.900 t	0.000	t
再生利用業者への処理委託量	697.200 t	82.800	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000	t

①現状

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず(伐木除根等)
全処理委託量	34.800 t	0.000 t
優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への 処理委託量	34.100 t	0.000 t
認定熱回収業者へ 処理委託量	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t
産業廃棄物の種類	投混合廃棄物(管理型含)	
全処理委託量	49.900 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t	
再生利用業者への 処理委託量	38.800 t	
認定熱回収業者へ 処理委託量	0.000 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	
産業廃棄物の種類		合計
全処理委託量	— t	1865.300 t
優良認定処理業者への 処理委託量	t	0.000 t
再生利用業者への 処理委託量	t	1517.000 t
認定熱回収業者へ 処理委託量	t	0.000 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	0.000 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【目標】			
産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスコン破片	
全処理委託量	100 t	200	t
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0	t
再生利用業者への 処理委託量	100 t	200	t
認定熱回収業者へ 処理委託量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず	
全処理委託量	50 t	0	t
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0	t
再生利用業者への 処理委託量	50 t	0	t
認定熱回収業者へ 処理委託量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	
全処理委託量	300 t	50	t
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0	t
再生利用業者への 処理委託量	300 t	50	t
認定熱回収業者へ 処理委託量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず	
全処理委託量	1000 t	50	t
優良認定処理業者への 処理委託量	1000 t	0	t
再生利用業者への 処理委託量	1000 t	50	t
認定熱回収業者へ 処理委託量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0	t

②計画

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず(伐木除根等)
全処理委託量	30 t	10 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	30 t	10 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量	0 t	50 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	50 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	0	合計
全処理委託量	— t	1,840.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	— t	1,000.0 t
再生利用業者への処理委託量	— t	1,840.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	— t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	0.0 t